

(電子メール施行)
農技第 1944 号
令和 5 年 3 月 2 日

各関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

病虫害発生予察防除情報第 8 号を發表しました。

本年のスクミリングガイの越冬可能地域は、暖冬傾向により平年よりやや広域になると推定され、今季の稲作において被害の発生が懸念されます。

昨年、本種の発生が確認された地域では、越冬している貝の割合が高いと考えられますので、耕うんによる防除の指導をお願いします。

令和 4 年度 病虫害発生予察防除情報 第 8 号
スクミリングガイの防除対策（耕うん）について

- 1 対象作物 イネ
- 2 害虫名 スクミリングガイ（ジャンボタニシ）
- 3 対象地域 県南部（特に播磨地域と淡路地域）
- 4 スクミリングガイについて
 - (1) 本種は水田内や水路等で越冬して、春季活動を始めると水稻生育初期のイネを食害する（写真）。
 - (2) 今季、本種の越冬が可能な地域は、平年よりやや広域に及ぶと推定される（図 1）。
 - (3) 昨年に本種の発生が見られた地域では、丁寧な耕うんにより防除することが望ましい。



写真 スクミリングガイ（左）と卵塊（中央）と被害田（右）
被害田（右）：矢印から下の部分が欠株になっている。

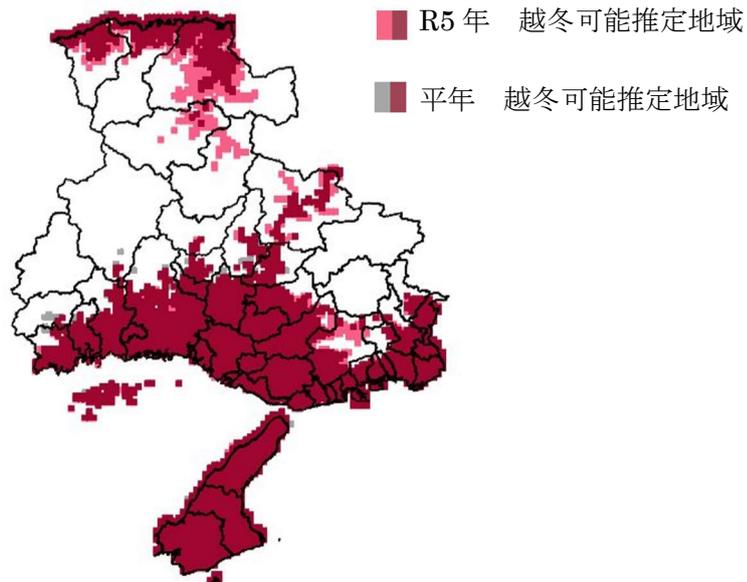


図1 低温期の気温から推定したスクミリンゴガイ越冬可能地域

メッシュ農業気象データ（日平均気温データ）を用いて算出した低温積算温度（小澤・牧野, 1988）の値が700日℃以下の場合を越冬可能地域として着色。

■ R5データ：R4. 10. 1～R5. 1. 31の日平均気温データを元に、過去10年の気温推移の傾向からR5. 3. 31までを推定して積算。

■ 平年データ：日平均気温の平年値データを元に10. 1～3. 31の積算。

5 防除対策

(1) 耕うん（物理的防除）

殻を破砕して殺貝するとともに、土中にある貝を掘り起こし寒気にさらして凍死させる。表土を細かく破砕するように耕うんすることが効果的であるため、田面が乾燥してから、トラクターの走行速度は時速1 km程度の低速に、PTO 回転速度は高速にすることが望ましい。本種は土中の浅いところで越冬するため、耕深は10cm程度で効果が得られる。

(2) ほ場の均平化

水稻移植後の被害回避として浅水管理を効果的に行うため、冬期にレーザーレベラーなどで田面の均平化を図る。田面が均平でない場合、深いところに貝が集まって被害を受ける。

(3) その他

耕うんを実施したほ場においても、小さな貝は破砕できないことや入水時に侵入する可能性があることから、入水口の侵入防止や薬剤防除など移植期の被害回避に備える。

6 注意事項

トラクターなどの農業機械に付着した泥と一緒に、スクミリンゴガイが他のほ場へ拡散する事例が報告されている。複数のほ場で同一の農業機械を使用する場合は、未発生ほ場から作業を始め、発生ほ場で使用した後は、泥をよく落とし、他のほ場へ持ち込まないようにする。

なお、耕うん、その他の防除対策や本種の詳しい生態は、次の資料も参照下さい。

- ・ 冬季耕うん :

<https://youtu.be/aepxufEcQ>



- ・ 発生生態 :

https://www.youtube.com/watch?v=oV6kC7_UaS0



- ・ 防除対策 :

病害虫・雑草防除指導指針の参考資料

「3-3 スクミリングガイの生態と防除対策」

(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/hyogo>)

* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページ

(<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>) に掲載しています。

問い合わせ先	兵庫県病害虫防除所	0790-47-1222
--------	-----------	--------------